

CASBEE[®]-建築(新築)

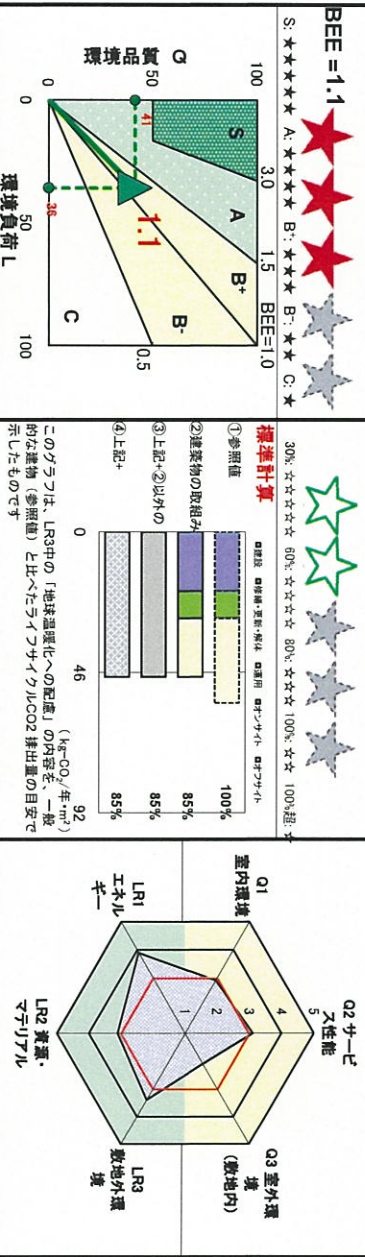
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(03.0))

評価結果

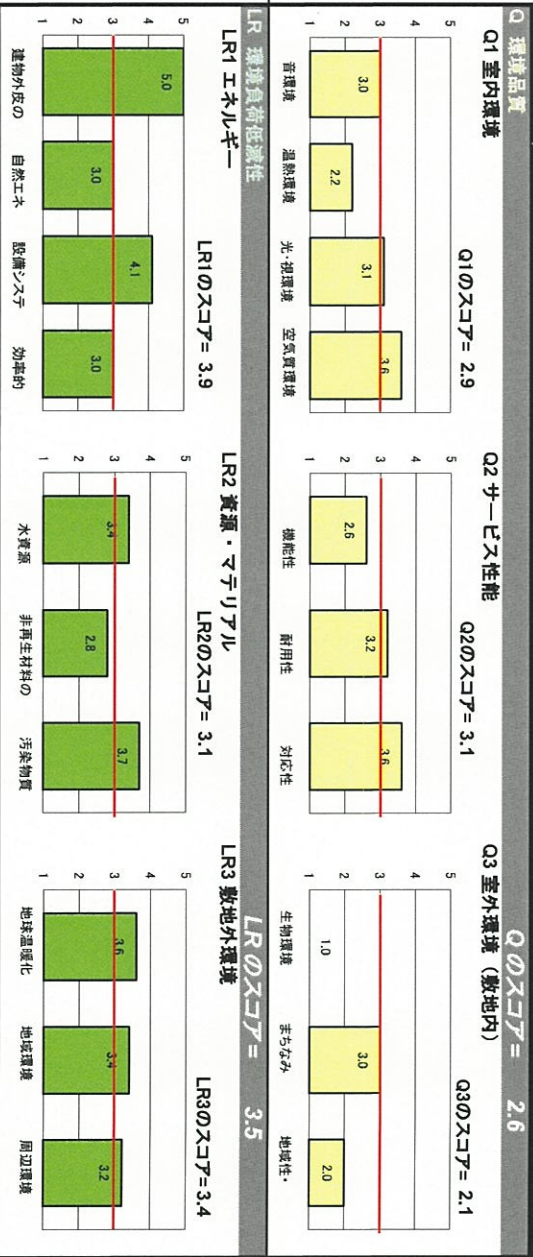
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	給与(株)加須物流センター新築工事	階数	地上3F
建設地	埼玉県加須市北大桑字宮下51-6-3	構造	S造
用途地域	指定無し	平均居住人員	53 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600 時間/年(固定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月	評価の実施日	2020年1月27日
敷地面積	13,793 m ²	作成者	給与建設(株)一般建築士事務所
建築面積	7,859 m ²	確認日	2020年1月27日
延床面積	20,462 m ²	確認者	給与建設(株)一般建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEE)グラフ&チャート 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>・外気性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO₂排出量の低減に努めている。</p> <p>Q1 室内環境 ・圧入全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気環境の確保を図っている。</p> <p>Q2 サービエ性能 ・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内) ・特に無し</p>	<p>LR1 エネルギー ・外皮性能を高め、効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。</p> <p>LR2 資源・エネルギー ・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。 ・OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。</p> <p>LR3 敷地外環境 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。 ・敷地内に屋外広告照明の設置は避け、周辺の光害抑制を図っている。</p>

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
- 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の算定、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 給与(給)加須物流センター新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価シート: CASBEE-BD_NC_2016(V3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質							2.6
Q1 室内環境			0.30				2.9
1 音環境			3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.40			
1.2 遮音			3.0	0.40			
1 開口部遮音性能			3.0	0.50			
2 異壁遮音性能			3.0	0.40			
3 異床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	0.40			
4 異床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-			
1.3 吸音			3.0	0.20			
2 温熱環境			2.2	0.35			2.2
2.1 室温制御			3.5	0.50			
1 室温			3.0	0.38			
2 外皮性能		断熱性能の高い外皮材料を使用	5.0	0.25			
3 リーン別制御性			3.0	0.38			
2.2 湿度制御			1.0	0.20			
2.3 空調方式			1.0	0.30			
3 光・視環境			3.1	0.25			3.1
3.1 星光利用			3.6	0.30			
1 星光率		星光率: 2.272%	4.0	0.50			
2 方位別開口			4.0	0.50			
3 星光利用設備			3.0	-			
3.2 グレア対策			3.0	0.40			
1 眩光制御			3.0	0.30			
3.3 照度			3.0	1.00			
3.4 照明制御			3.0	0.15			
4 空気質環境			3.6	0.25			3.6
4.1 発生源対策			4.0	0.50			
1 化学汚染物質		天井裏を含めほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00			
4.2 換気			3.3	0.30			
1 換気量			3.0	0.33			
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積は居室床面積の1/30以上	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.33			
4.3 運用管理			3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視			3.0	-			
2 喫煙の制御			3.0	1.00			
Q2 サービスマネジメント性能			-	0.30			3.1
1 機能性			2.6	0.40			2.6
1.1 機能性・使いやすさ			1.0	0.40			
1 広さ・収納性			1.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応			1.0	0.50			
3 バリアフリー計画			4.0	-			
1.2 心理性・快適性			4.0	0.30			
1 広さ感・景観		天井高: 2.9m	5.0	0.33			
2 リソリッシュスペース		執務スペースの1%以上のリソリッシュスペースがある	4.0	0.33			
3 内装計画			3.0	0.33			
1.3 維持管理			3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計を行っている	4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保			4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性			3.2	0.30			3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50			
1 耐震性(建築物のこわれにくさ)			3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数			4.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		耐用年数の長い外皮仕上げ材を使用	3.0	0.20			
2 外皮仕上げ材の補修必要間隔		耐用年数の長い内装仕上げ材を使用	5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装仕上げ材を使用	5.0	0.10			
4 空調換気システムの更新必要間隔		主要な用途上位3種において2種類以上にB以上を使用しEは不使用	3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20			
2.4 信頼性			2.8	0.20			
1 空調・換気設備			3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備			2.0	0.20			
3 電気設備			3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		耐震クラス:Aクラス	4.0	0.20			
5 通信・情報設備			2.0	0.20			

3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
1	階高のゆとり	階高:6.2m以上	5.0	0.30					3.6
2	空間の形状・自由さ	2F壁長さ比率:0.07	5.0	0.60					5.0
3.0	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30					3.0
3.3 設備の更新性			3.0	0.40					3.0
1	空調配管の更新性		3.0	0.20					3.0
2	給排水管の更新性		3.0	0.20					3.0
3	電気配線の更新性		3.0	0.10					3.0
4	通信配線の更新性		3.0	0.10					3.0
5	設備機器の更新性		3.0	0.20					3.0
6	バックアップシステムの確保		3.0	0.20					3.0
G3 室外環境(敷地内)				0.40					2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30					1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40					3.0
3 地域性・デザインへの配慮			2.0	0.30					2.0
3.1 地域性への配慮 快適性の向上			2.0	0.50					2.0
3.2 敷地内温暖環境の向上			2.0	0.50					2.0
LR 建築物の環境負荷低減性									
LR1 エネルギー									
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPE _m :0.63	5.0	0.20					5.0
2 自然エネルギー利用		[BE] [BEM] = 0.69	3.0	0.10					3.0
3 設備システムの高効率化			4.1	0.50					4.1
4 効率的運用			3.0	0.20					3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00					3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50					3.0
集合住宅の評価			3.0	0.50					3.0
4.1	モニタリング								
4.2	運用管理体制								
LR2 資源・マテリアル				0.30					3.1
1 水資源保護			3.4	0.20					3.4
1.1	節水	自動水栓に加えて節水型便器を採用	4.0	0.40					4.0
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60					3.0
2	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70					3.0
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30					3.0
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60					2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11					2.0
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22					3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22					3.0
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22					1.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-					-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGSE工法、ユニット部材の採用	5.0	0.22					5.0
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20					3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30					3.0
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70					4.0
1	消火剤	発泡系断熱材の採用はしない	5.0	0.50					5.0
2	塗料(断熱材等)		3.0	0.50					3.0
3	冷媒		-	-					-
LR3 敷地外環境				0.30					3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2低減率:81.9%	3.6	0.33					3.6
2 地域環境への配慮			3.4	0.33					3.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の設置は無い	5.0	0.25					5.0
2.2 温暖化環境悪化の改善			3.0	0.50					3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25					2.7
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25					3.0
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25					3.0
3	交通負荷抑制		4.0	0.25					4.0
4	廃棄物処理負荷抑制	駐輪・駐車台数を確保し車両出入時の混雑を避けた計画	1.0	0.25					1.0
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33					3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40					3.0
1	騒音		3.0	1.00					3.0
2	振動		-	-					-
3	悪臭		-	-					-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40					3.0
1	風害の抑制		3.0	0.70					3.0
2	砂塵の抑制		-	-					-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30					3.0
3.3 光害の抑制			4.4	0.20					4.4
1	昼光照明及び夜間照明の方向に誘われる夜光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	5.0	0.70					5.0
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30					3.0

CASBEE埼玉県 重点項目シート


■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	鈴与(株)加須物流センター新築工	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	------------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア							
3.6		+	2.0		=	5.6	
重点項目の各スコアへの合計点							
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上		非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア **3.6**

・高効率な設備機器の採用によりCO2の削減に配慮している。

(2) 緑の保全・創出

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

- Q3 室外環境(敷地内)
- Q3 室外環境(敷地内)
- LR3 敷地外環境

- 1. 生物環境の保全と創出
- 3. 2 敷地内温熱環境の向上
- 2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア平均 **2.0**

スコア	1.0
スコア	2.0
スコア	3.0

・敷地内緑化により、緑の量の確保に配慮している。

: 入力欄